

第43回北海道歯科医師テニス大会

主催：北海道歯科テニス協会

主管：岩見沢歯科医師会テニス部



岩見沢市毛陽町は、古くからリングを中心とした果樹栽培が盛んな土地で、市民から「ふるさと毛陽」と呼ばれリゾート地として親しまれてきた。そこを会場として9月23日（土・祝）・24日（日）の両日、標記大会が全道各地から48名の選手を集め、スパ・イン・メープルロッジテニスコートで開催された。

午前9時、旗手一永 大会実行委員長から開会宣言が出され、岩歯会長 倉増 淳 大会会長、八重樫 裕 北海道歯科テニス協会会長から挨拶の後、優勝杯返還が行われた。その後、次年度開催地の室蘭会の本田 健 先生から「ぜひ来年は室蘭にお越しください、室蘭焼鳥も味わってください」との挨拶をいただき、加藤久尚 大会実行副委員長より競技説明があり、熱い2日間の熱戦の火蓋が切って落とされた。

今大会は過去にあまり例を見ない2日間にわたる大会ということもあり、また試合会場がリゾー

ト地とあって、熱い応援ばかりではなく、選手やご家族、応援の方々のくつろがれている姿が多く見られた。試合である以上は勝負の行方を決めなければならない。しかし、そこには勝者と敗者の隔たりはなく、また選手の勇姿ばかりではなく、ご家族や応援団、そして開催スタッフの笑顔が心に残る大会であった。

閉会式では、旗手 大会実行委員長より「『テニスリゾートを楽しもう』をコンセプトに何時もの大会とは違う環境で開催した。コート面数の関係で2日間での開催という日程となったが、プレーヤーの方々には改めてテニスを楽しんでいただけたかと思う。少ないスタッフとテニスには詳しくない先生方と運営したため、至らないところも多々あったかと思うが、怪我人もなく、皆様の協力のもと無事大会を終えられたことをここに感謝申し上げます」との挨拶があった。（木村 悟 記）

< 男子A級7ペア >

A級は、3ペアと4ペアの2ブロックに分かれての総当たり。上位2チームが決勝トーナメントに進み、3位と4位はコンソレーションに回った。

Iブロック

第1試合は本田（室）・八重樫（札）ペアと大西（札）・合田（札）ペアのベテランペア同士の試合となり、一進一退の攻防の末、本田・八重樫ペアが勝利した。第2試合は大西（札）・合田（札）ペア 対 岡田（医療）・芦田（医療）ペアの合計年齢差88歳の試合となった。岡田・芦田ペアの圧勝かと思われたが、2 - 5から大西・合田ペアが執念の逆転勝利をした。第3試合はベテラン対決を制した本田・八重樫ペアが、試合運びの上手さをみせ、岡田・芦田ペアを一蹴した。本田・八重樫ペアが1位通過、大西・合田ペアが2位通過、岡田・芦田ペアがコンソレへと進んだ。

IIブロック

中里（札）・柏木（札）ペアと松下（札）・今多（札）ペアが前評判どおり勝利を重ね、両者の接戦を制した松下・今多ペアが1位通過、中里・柏木ペアが2位通過を決めた。

3位4位決定戦となった渡邊（札）・加藤（岩）ペアと大津（札）・森（北大）ペアの試合は渡邊・加藤ペアが随所にダウンザラインを見事に決め5 - 2とリードしマッチポイントを2回とっていたが勝利を逃し、大津・森ペアが大逆転勝利となった。ロングラリーの影響か巧みの技を持つ渡邊先生の足がつった影響があったかもしれない。大津・森ペアが3位、渡邊・加藤ペアは4位でコンソレへと進んだ。
（今多 将 記）

決勝トーナメント

2日目に行なわれた決勝リーグ。初戦はIIブロック予選無傷の1位通過を果たした松下・今多ペアと、若手を僅差で退けIブロック予選を2位で通過した大西・合田ペアが対戦。攻守の噛み合った松下・今多ペアが6 - 0で勝利した。続く第2試合予選Iブロック1位通過の本田・八重樫ペアと予選IIブロック2位通過の中里・柏木ペアが対戦した。

堅いプレーを武器に戦う本田・八重樫ペアだったが、予選からギアを上げてきた中里先生のサーブと長い手足を活かした柏木先生のボレーに6 - 3で惜しくも敗退した。そして迎えた決勝戦。直前まで屋内コートで念入りなアップを済ませてい



男子A優勝 今多・松下



男子A準優勝 中里・柏木



男子A 3位 本田・八重樫



男子A 3位 大西・合田



男子B優勝 松井・水野

た松下・今多ペアは勢いのまま勝負を決めたかったが、屋外とのギャップに苦しみ前半苦戦。

しかし、インカレ経験のある今多先生が、初の決勝進出を果たした松下先生を的確にフォローし戦局を持ち直した。互角の試合展開であったが、調子を上げてきた松下先生のボレーも決まり、松下・今多ペアが初優勝を決めた。（森 厚志 記）

コンソレ

第1試合、前夜のアルコールを残しながらの大津・森ペアは、あっさりと岡田・芦田ペアに敗北した。第2試合、予選に続き渡邊・加藤ペアと大津・森ペアの再戦、僅差で今回も大津・森ペアが勝利した。第3試合、渡邊・加藤ペアと岡田・芦田ペアの試合。渡邊・加藤ペアは若い岡田・芦田ペアのパワーにはかなわず岡田・芦田ペアの勝利。最終結果は1位岡田・芦田ペア、2位大津・森ペア、3位渡邊・加藤ペアとなった。

（松下矩大 記）

〈男子B級11ペア〉

実行委員長の自分は本来であれば今回は裏方に徹し、大会をサポートするつもりであったが、大会前夜のハプニングにより急遽参戦することとなり、心と身体の準備ができないまま大会に望むことになった。その顛末と、観戦記を書かせてもらいます。

大会前夜、実行委員数名と前日入りしていた女子ダブルスのエース、北大の三上先生と大会の成功を祈念し乾杯し、翌日の天気などを心配しながら呑んでいたその時、三上先生のスマホに着信があり、「えーっ、うそ～!!」という会話が聞こえてきた。嫌な予感を感じていたら案の定パートナーの先生が急病で出られないとのこと!!ここにきてのまさかのハプニングに実行委員長の私も青くなりドローの変更を余儀なくされた。急遽、ミックスは1組だったので男子B級に登録していた斉藤未来先生（北大）を三上先生とペアに、斉藤先生の後に私が登録することで事なきを得たのだが、ペアを組む高橋先生（北大）とは面識もなく且つ軟式テニスの経験はあるが硬式テニスの試合経験はないと聞いていたので頭を抱えてしまった。そしてこれがB級大混戦の序章となってしまった。更にできるだけ多くゲームをしていたきたく今回は予選から6ゲーム先取ではなく、6ゲームマッチ、タイブレークありを選択したため、これも混戦に一役買ったのかもしれない。



男子B準優勝 南・小山



男子B3位 ○○・○○



男子Bコンソレ優勝 笹川・小松



男子Bコンソレ準優勝 本田（慎）・川本

結果を見ていただくとおわかりのように、Iブロック、IIブロックとも勝敗数が同じチームが多く大混戦。唯一安泰だったのは、優勝した松井（室）・水野（室）ペアとIIブロックの戸田（札）・工藤（札）ペアの2チーム。そして決勝トーナメント、結果を見ておわかりのように、松井・水野ペアの圧勝!!

予選ではイマイチ調子でなかった水野先生も、決勝では松井先生に引っ張られるように調子を上

げ見事なボレーを連発。決勝で敗れたとは言え、南（札）・小山（札）ペアも健闘、特に小山先生もこれまた年齢を感じさせないプレーを随所に見せていた。コンソレーションにおいてもこれまた年齢を感じさせないプレーで勝ち上がった、小松（札）・笹川（札）ペアが室蘭から初参戦の若手川本・本田ペアに勝利、ベテランの活躍が目立ったB級であった。

年々プレーヤーの年齢が上がっているが今回改めて鉄人、いや超人松井先生の凄さに更にリスペクトを感じた次第であった。来年は松井先生のお膝元室蘭大会、若手プレーヤーが奮起し、大会を盛り上げてもらいたいと思うと同時に、来年の大会にも多くの先生、スタッフ、ご家族の方の参加を希望致します。（旗手一永 記）

〈女子6ペア〉

1日目 今大会はミックスの参加がなく、昨年2組のみの参加だった女子ダブルスに6組がエントリー、1日目の予選は3組ずつに分かれてリーグ戦を行なった。Iブロックは第1試合から三上・斎藤ペア（北大）が岡田・岡田母娘ペア（函）と接戦を演じたが、タイブレークを三上先生の見事なサービスエースで制し、その後も危なげなく勝って2連勝で1位通過。一方のIIブロックも浜本・中村ペア（北大）が難敵の水野・本田ペア（室）を押し切って難なく2連勝した。

2日目 予選では北大ペアに敗れた岡田・岡田ペアと水野・本田ペアだったが、迎えた準決勝ではともに試合巧者ぶりを発揮し、難敵を終始圧倒して決勝進出、逆に北大ペア2組は動きが硬く、ミスを連発して波に乗れないまま両ペアとも完敗してしまった。決勝は、はじめ岡田・岡田ペアが4 - 1とリード、水野・本田ペアがよく盛り返すも、5 - 3で第9ゲームを迎える。ここで2度のマッチポイントを好プレーで凌いだ水野・本田ペアが3度のジュースの末にブレークに成功して5 - 4に。しかし第10ゲームで今度は水野・本田ペアにボレーをネットにかけるとミスが4本出てしまい、岡田・岡田ペアが第37回・第38回大会以来の優勝を遂げた。コンソレは、角田・石井ペア（後）、ご当地の高橋・的場ペア（岩）が互いに“キャーキャー”の応酬でテニスを楽しみながらも試合は白熱しほぼ互角の進行が続いたが、途中で逆転した高橋・的場ペアが終盤一気に差を広げ

て6 - 3で勝利した。

最後に、各クラス決勝のハイライト動画をYouTubeでご覧になることができます。『第43回北海道歯科医師テニス大会岩見沢大会』で検索してみてください。（久恒泰宏 記）



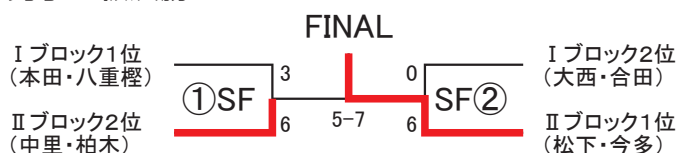
男子 A 級

Iブロック		1	2	3	勝点	順位	
1	本田 健(室)・八重樫 裕(札)		6-4	6-1	2勝0敗	1位	
2	大西 成和(札)・合田 成美(札)	4-6		7-6(7-3)	1勝1敗	2位	
3	岡田悠之介(医大)・芦田 雄基(医大)	1-6	6-7(3-7)		0勝2敗	3位	
IIブロック		1	2	3	4	勝点	順位
1	中里 博幸(札)・柏木 律是(札)		6-1	4-6	6-1	2勝1敗	2位
2	大津 朋一(札)・森 厚志(北大)	1-6		1-6	7-5	1勝2敗	3位
3	松下 矩大(札)・今多 将(札)	6-4	6-1		6-0	3勝0敗	1位
4	渡邊 一洋(札)・加藤 久尚(岩)	1-6	5-7	0-6		0勝3敗	4位

男子A級コンソレーション

I ブロック		1	2	3	勝点	順位
1	I ブロック 3位 岡田・芦田		6-1	6-2	2勝0敗	1位
2	II ブロック 3位 大津・森	1-6		6-5	1勝1敗	2位
3	II ブロック 4位 渡邊・加藤	2-6	5-6		0勝2敗	3位

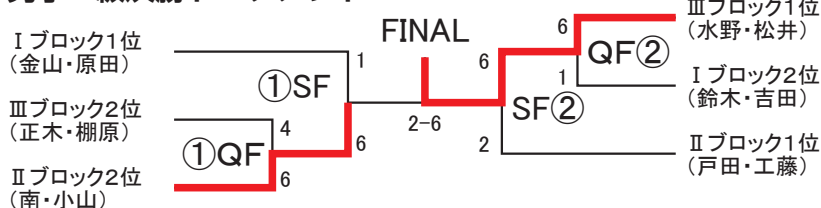
男子A級決勝トーナメント



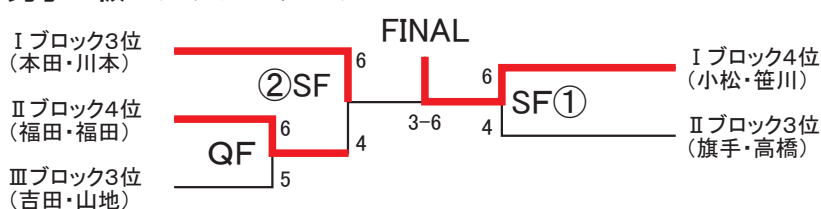
男子 B 級

I ブロック		1	2	3	4	勝点	順位	*取得ゲーム率
1	鈴木研一郎(札)・吉田 昭則(旭)		6-4	5-7	6-3	2勝1敗	2位	17/31 (0.548)
2	本田 慎(室)・川本 康平(室)	4-6		6-4	6-4	2勝1敗	3位	16/30 (0.533)
3	金山 義博(札)・原田 尚也(札)	7-5	4-6		6-3	2勝1敗	1位	17/31 (0.548)
4	小松 始(札)・笹川 政嗣(札)	3-6	4-6	3-6		0勝3敗	4位	1位・2位は直接対決による
II ブロック		1	2	3	4	勝点	順位	*取得ゲーム率
1	福田 衛(室)・福田 啓輔(室)		1-6	7-6(8-6)	4-6	1勝2敗	4位	12/30 (0.400)
2	戸田 徳和(札)・工藤 元義(札)	6-1		7-5	6-2	3勝0敗	1位	
3	南 謙二(札)・小山 方人(札)	6-7(6-8)	5-7		6-4	1勝2敗	2位	17/35 (0.486)
4	旗手 一永(岩)・高橋 奏多(北大)	6-4	2-6	4-6		1勝2敗	3位	12/28 (0.429)
III ブロック		1	2	3	勝点	順位		
1	水野 文晴(室)・松井 繁幸(室)		6-3	6-4	2勝0敗	1位		
2	正木 英之(十)・棚原 樹夢(十)	3-6		6-4	1勝1敗	2位		
3	吉田 俊彦(札)・山地 規夫(札)	4-6	4-6		0勝2敗	3位		

男子B級決勝トーナメント



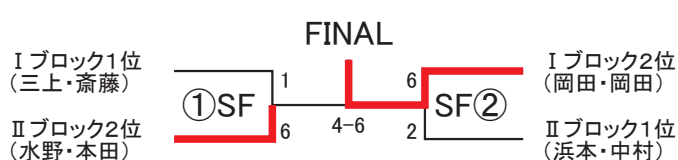
男子B級コンソレーション



女子

I ブロック		1	2	3	勝点	順位		
1	三上 紗季(北大)・斎藤 未来(北大)		7-6(7-3)	6-1	2勝0敗	1位	1	水野ゆり子(室)・本田美智代(室)
2	岡田あゆみ(函)・岡田 萌(函)	6-7(3-7)		6-0	1勝1敗	2位	2	浜本 朝子(北大)・中村 那月(北大)
3	角田 友香(後)・石井 和(後)	1-6	0-6		0勝2敗	3位	3	高橋 薫(岩)・的場 博美(岩)
I ブロック		1	2	3	勝点	順位		
1	水野ゆり子(室)・本田美智代(室)		3-6	6-0	1勝1敗	2位		
2	浜本 朝子(北大)・中村 那月(北大)	6-3		6-0	2勝0敗	1位		
3	高橋 薫(岩)・的場 博美(岩)	0-6	0-6		0勝2敗	3位		

女子決勝トーナメント



女子コンソレーション

